



Tomorrow

No. 2

明日へのバトン

Tomorrow

PROFILE

吉福 誠さん

(写真左から4番目)

星鹿町大石地区に住む24歳。
趣味は、音楽鑑賞。特に洋楽。
好きな言葉は、どうにかなる。



■今月の表紙

初めて市内の学校給食に『まつのすけゼリー』が登場した日、志佐小学校の給食時間のひとコマ。このゼリーは、市内で生産されている温州みかんとパッションフルーツを原料に、市が推進する地産地消事業の一環として、国県の補助金を活用して学校給食用に開発したものです。

志佐小4年の犬塚直幸くん(志佐・大浜東)は「みかんの味がしてめっちゃおいしい!また食べたいです」と話していました。

※次は、山崎誠也さん(星鹿・牟田)にバトンタッチ!

○目標・夢

経営の主体であるブドウをもっと増やして、1人でも多くの人に御厨ぶどうを食べてもらえるように頑張っていきたいです。

松浦地区御厨ぶどう部会には、同世代の仲間もいるので、皆で協力して、これからの御厨ぶどうをさらに飛躍させていければいいなと思っています。

○職業・仕事内容

現在は、ブドウを主体としてインゲンやキャベツなどを作っています。

ここ近年の不景気で厳しい状況ではありませんが、消費者の方に安心しておいしく食べてもらえるように頑張っています。

■人の動き

※()は、前月との比較

人口	25,836
	(-192)
男	12,347
	(-89)
女	13,489
	(-103)
世帯数	10,204
	(-28)

住民基本台帳から

平成22年4月1日現在

■編集室から

今月号の取材で、(カ)は志佐川の稚アユの放流に行きました。

アユは川に棲む魚だと思ってきましたが、取材の中でアユが川と海を行き来する回遊魚であることを知りました(皆さん知っていましたか?)。

下水道が整備され、志佐川の河口付近の水質が良くなってきたと聞きますが、来年の春には放流したアユたちが産卵のために戻ってくるかもしれません。

6月にはアユ漁も解禁になります。たくさんさんの生き物が生きているこのきれいな川を汚さないように守ってあげたいいなあと思っ(カ)でした。



イラスト(近)

福岡まで1時間! 西九州自動車道の一日も早い完成を!



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙(100%)を使用しています。

市報まつら No. 53
平成22年5月1日発行

編集発行/松浦市まちづくり推進課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地
福島町からは47-3011
ホームページアドレス http://www.city.matsura.jp

0956-72-1111 FAX 72-1115
鷹島町からは48-3011
Eメールアドレス matsura@city.matsura.jp
印刷/有限会社タイセイ印刷